

UMU

エンタープライズ ラーニング ソリューション



atd
Association for
Talent Development



umu
www.umu.co

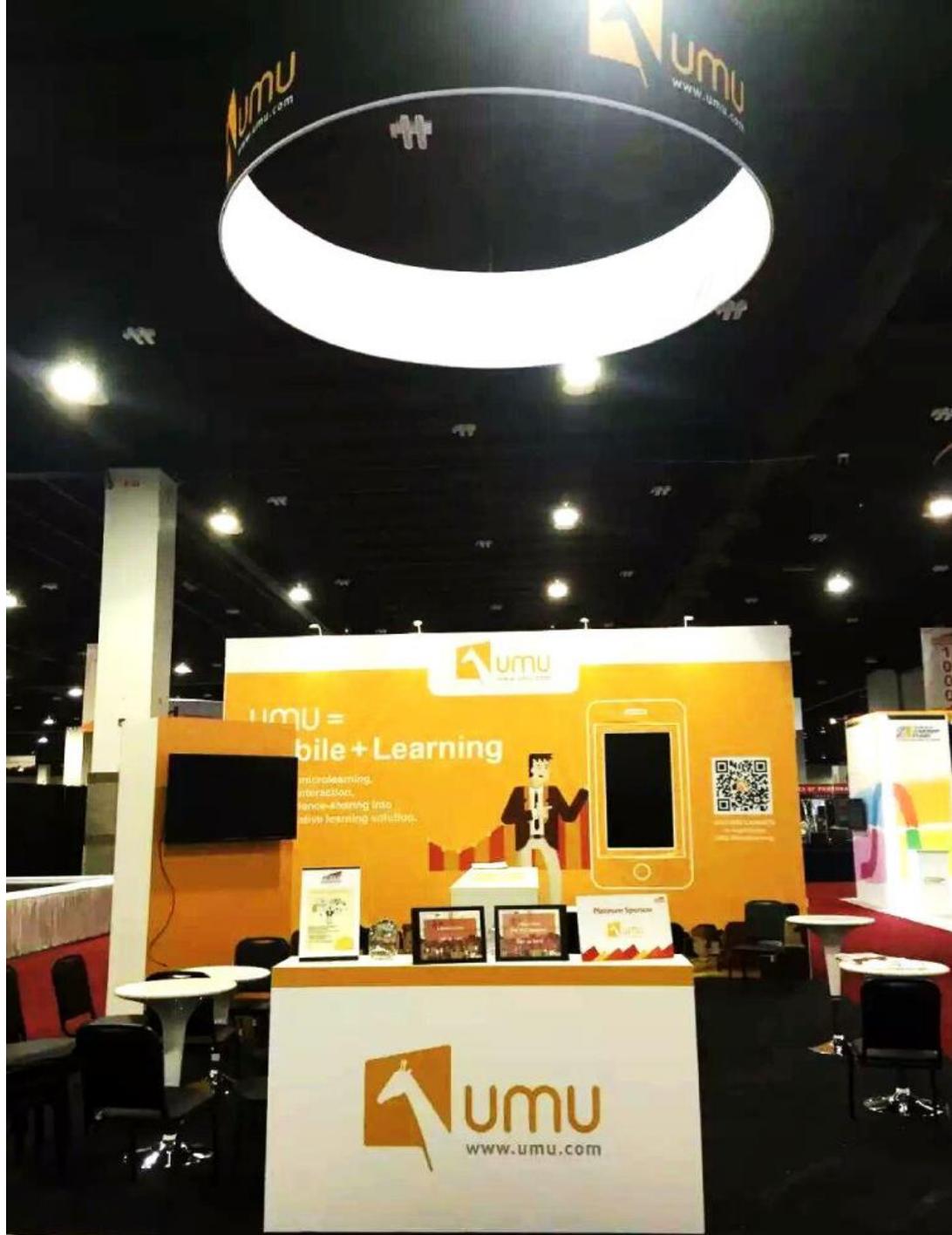
Monday



Simon Sinek

8:00 – 9:30 a.m.
Leaders Eat Last:
Why Some Teams Come
Together and Others Don't

Sponsored by:





Connected!



ダイナミックに学習する組織



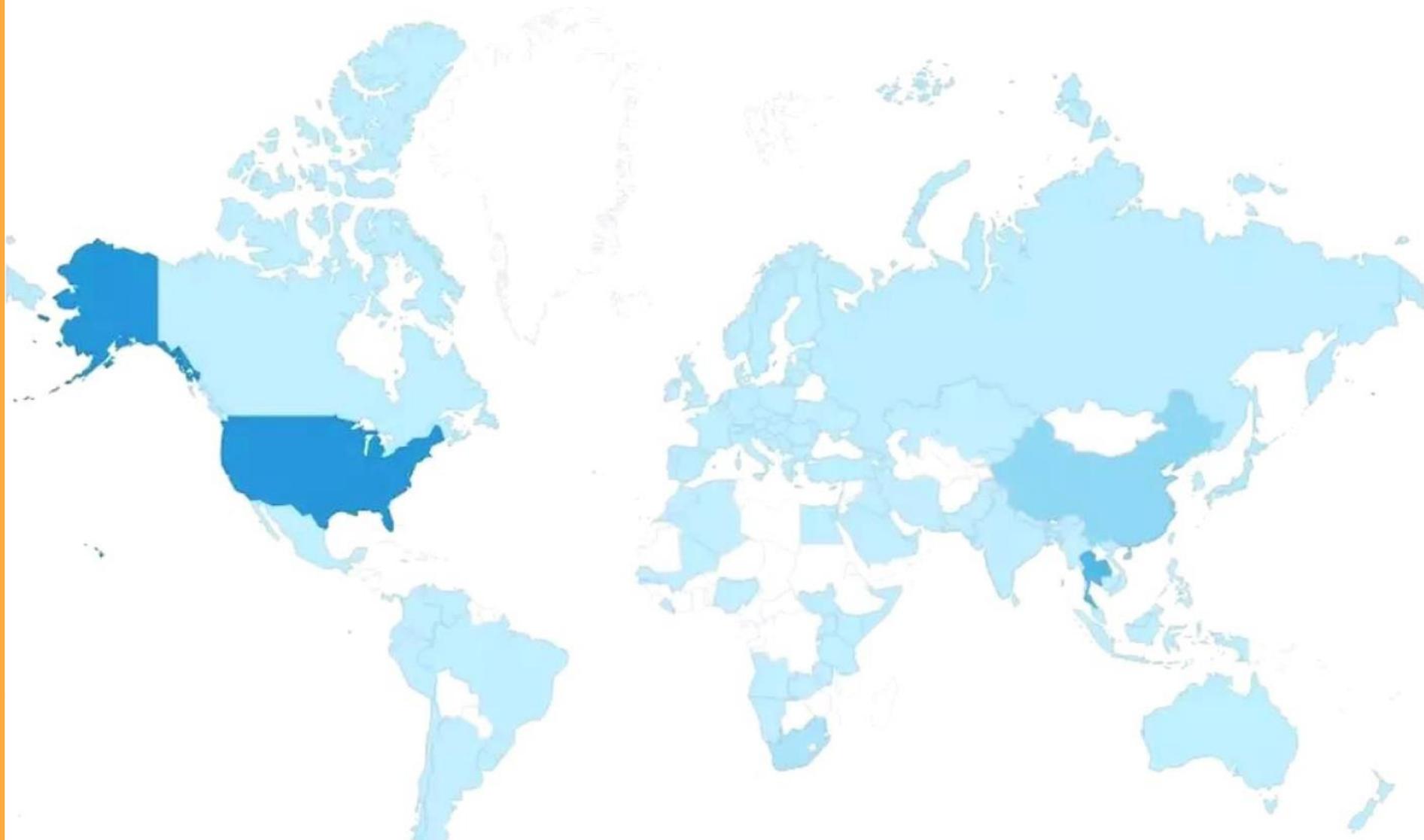
効率的に知識を習得・適用

ビジネスパフォーマンスを向上

従業員の貢献を促進

イノベーションを加速

UMUはグローバルに展開



Darker color indicates high user density (February 2016)

ATDのワールドワイド パートナー



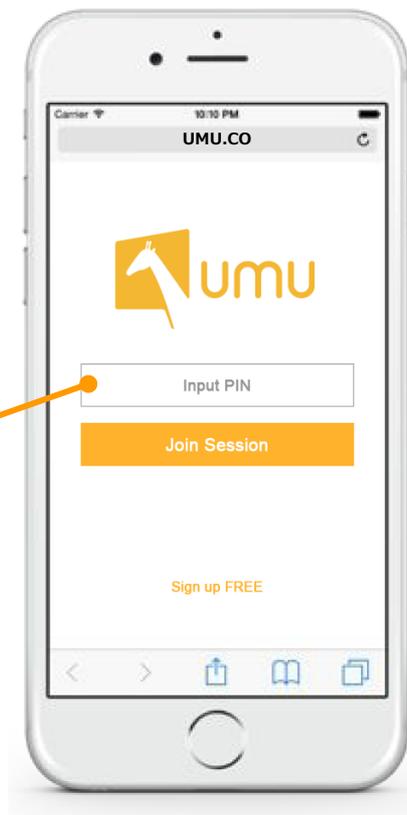
3つの国際的賞を受賞

- Most Popular Training Brand of the Year
(中国の Training Magazine誌、2016年10月)
- Top 10 Most Innovative Products (2016年3月)
- Best HR Service Provider (2016年4月)

業界のトレンド

UMU.COに
アクセスして
PINコードを入力

2299



ビジネスニーズを満たす トレーニングリソースの不足

内部的問題

- 社内の専門家には、十分にカスタマイズされたコンテンツを作る時間的余裕やスキルがない
- SMEやスターパフォーマーの知識をビジネス資産としてまとめることができない

トレーニング リソース

外部的問題

- ビジネスニーズに適した市販のコースがない
- トレーニングに参加する学習者のレベルがさまざま
- 組織の変化やイノベーションのスピードに対応できない

非効率なトレーニング



インストラクター指導型トレーニング

- 特に地理的に分散したチームの場合、トレーニングの実施が複雑
- リソースが限られているので、専門知識のためのトレーニングが受けられるのは、リーダー層に限られている
- トレーニングに参加するチャンスが少ないので、従業員の関与意識が高まらない、離職率が高い
- ROIの測定が困難

ライブ ブロードキャスト

- さまざまな機器やソフトウェアが必要

eラーニング

- 受動的なオンラインコースではモチベーションが高まらない、修了率が低い

トレーニングコストの増大



高いコスト： 従業員1人あたりの年間コストは、平均で720米ドル*

従業員が費やす時間： 1人の従業員が1年あたりトレーニングにかかる時間は、53.8時間*

学習が行われたことをどのように証明すればいいか？

テクノロジーを活用して知識の流動性を高め、
ビジネスを促進するには、どうすればいいか？

* ATDによる業界レポート (State of the Industry Report、2015年)

UMUの5つの利点



コンテンツ

コンテンツの作成・改訂を低コストで行うことが可能

環境

ブレンド型学習を可能にするデザイン

体験

ソーシャル、モバイル、マイクロラーニングによる学習を効率的、効果的に行うことが可能

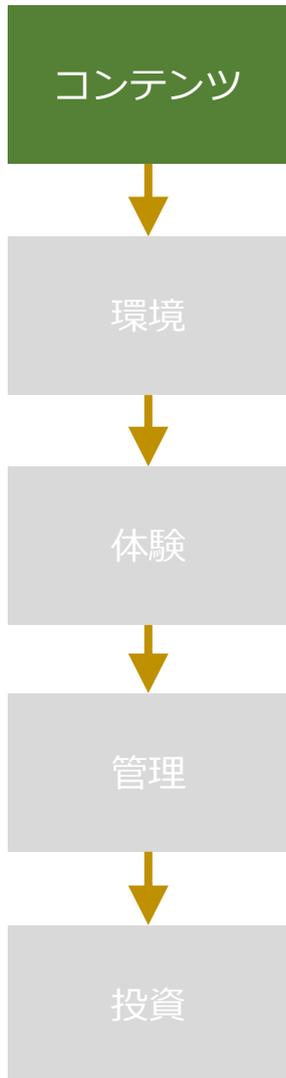
管理

学習プロセスを総合的、双方向的に追跡することが可能

投資

カスタム モバイル ソリューションを作る場合より、大幅に低コスト

コンテンツを短時間で作成



従来のコンテンツ作成に比べ、

2% の労力
98% の効果

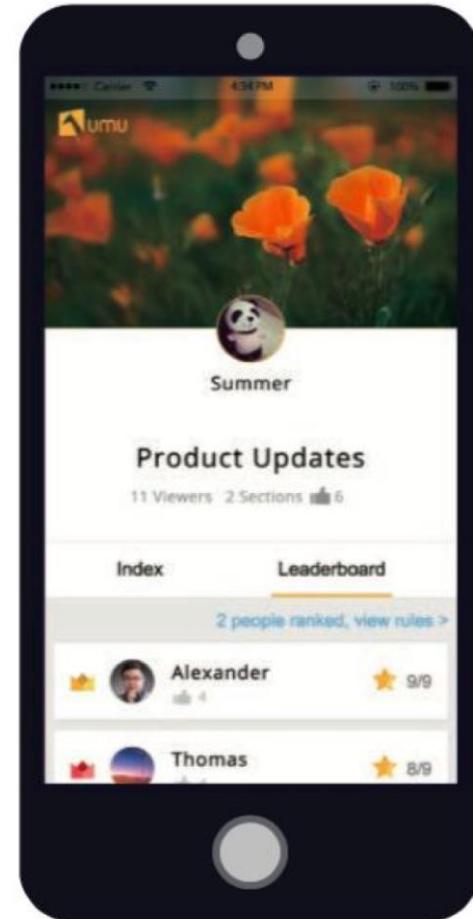
- eラーニング、プログラミング、開発のスキルが不要
- PowerPointなどの既存の資料を使える



変化やイノベーションに歩調を合わせる

デジタル時代のトレーニングには、迅速なアップデートが必要とされる。UMUはモジュール型のデザインになっているので、組織の最新ニーズやポリシーに合わせてコンテンツを最新状態に保つことができる。

営業担当者が、最新の製品情報を得るための
独自ツールを用意

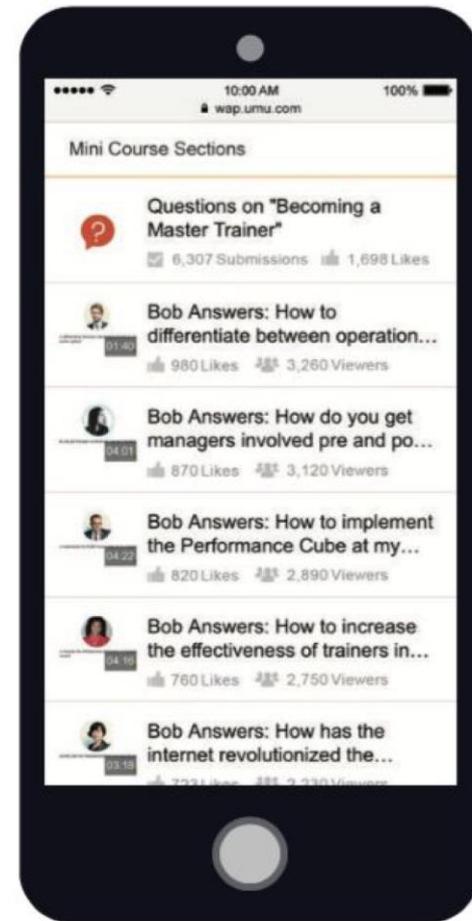


社内の知識やベストプラクティスのキュレーション

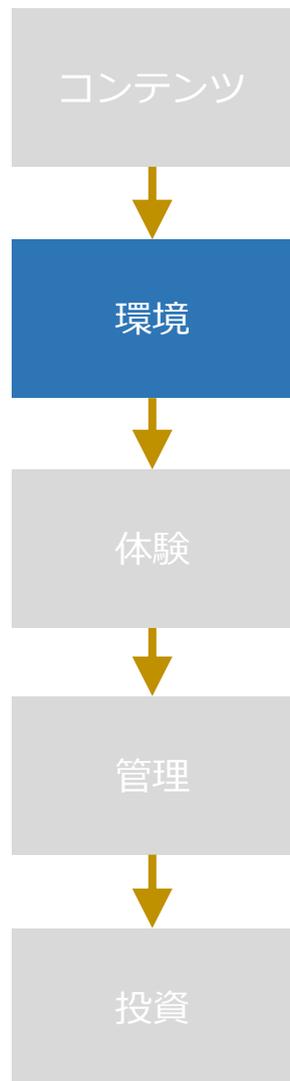


優秀な社員の専門知識やスキルを共有することが可能。UMUを使えば、誰でも簡単にコンテンツを作って共有できる。

- 営業担当者が、顧客との関係を構築
- 顧客サービス担当者が、難しいお客様に対応
- IT担当者が、ネットワークプリンターをセットアップ



さまざまな状況で学習を可能に



- A. インストラクター指導によるトレーニング、ワークショップ、カンファレンス
- B. インストラクター指導によるバーチャルトレーニング、オンラインミーティング、ウェビナー
- C. オンライン学習、MOOC、eラーニング、トレーニングの強化、検索可能なコンテンツライブラリ、モバイルラーニング、マイクロラーニング
- D. 事前に自分のペースで学習し、教室では、インストラクターがコーチングなどを中心に指導

関与意識を高めるような インストラクター指導型トレーニング



トレーニング前



クイズやアンケートで
既存知識を確認

トレーニング中



出席確認



ミニゲームを使って、注意力を回復



ブレインストーミング、
小グループでのディスカッション



共通の関心がある質問を集め、答える



クイズを使って学習者の理解を確認



スライドを表示、保存

トレーニング後



フィードバックを集め、
トレーニングレポートを作成



引き続き質問を募ったり、質問に答える

バーチャル学習者の積極的な参加を促す

B

ライブのオンライン学習

バーチャル環境では学習者の気が散りやすい。UMUを使えば、積極的な参加を促し、関与意識を高めることが可能



知識の確認を頻繁に行う



学んだ概念を実際に適用する例を考えさせる



共通の関心がある質問を集め、答える



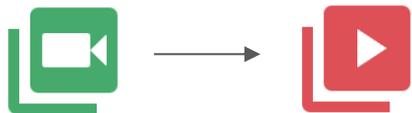
新機能の紹介:ライブ ブロードキャスト (2017年公開)



B

ライブのオンライン学習

モバイルデバイスや4Gの普及により、オフィスの内外で簡単に知識を共有する方法が求められている。UMUのライブ ブロードキャストは、トレーニングやグローバル ミーティングに最適。



アプリやダウンロードが不要

UMUのライブ ブロードキャスト機能を使用すれば、高品質のビデオを作成して、すぐに配信することが可能。デスクトップ、ラップトップ、モバイルデバイスからリンクをクリックすれば、ライブストリームにアクセスできる。アプリやプラグイン、ダウンロードは不要。

UMUのライブ ブロードキャスト カメラは、自動補正機能を備えているので、スピーカーをベストな状態で表示することが可能

ブロードキャストをキャプチャーして再利用

ブロードキャストが終わると、UMUがそれを自動的にビデオクリップとして保存するので、後からセルフペースの学習を行うことが可能。ライブ ストリームに参加できない場合も心配は無用

マイクロラーニング：脳の仕組みに適した学習

C

セルフペースの
オンライン学習

若い世代を引き付け、その能力を高め、定着を促すには、その嗜好に合わせる必要がある。2025年までに、ミレニアル世代が職場の75パーセントを占めるようになる。ミレニアル世代が注意を持続できる時間は、平均でたった90秒。

マイクロラーニングとは？

コンテンツを小さいチャンクに区切って学習することで、トレーニングの効率性を高めたり、学んだことを忘れないようにすること

ブロードキャストをキャプチャーして再利用

- コンテンツを短時間で作成
- 時間や場所を問わずにアクセス可能
- SMEにコンテンツ作成を依頼し、社内の知識やベストプラクティスを収集
- モジュールごとに学習効果を検証し、部分的に改善することが可能
- 変化やイノベーションに歩調を合わせる



トレーニング目標の強化



トレーニング



7日

クイズ + 復習ビデオ



30日

サクセスストーリー + ディスカッション

「学んだことをどのように適用しましたか？」



60日

Q&A

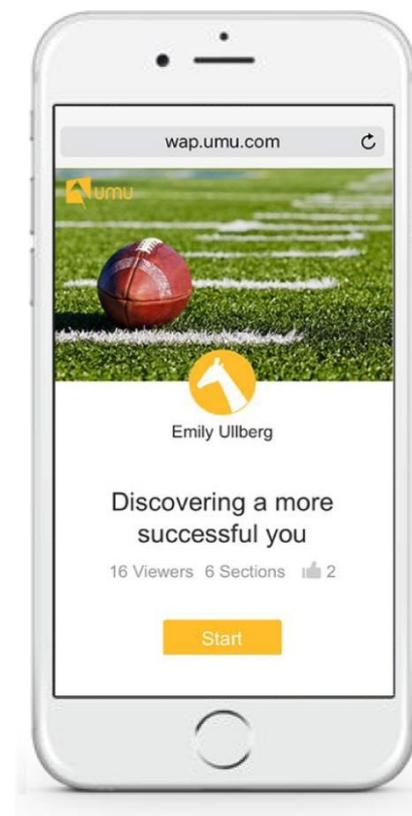
「何か分からないことはありますか？」



的を絞ったコンテンツ

顔を合わせる機会を最大限に活かす

トレーニング前に、UMUを使ってニーズアセスメントを行い、自習型のマイクロラーニングコンテンツを配信。学習者が事前に簡単なコンテンツを学んでいるので、教室でのインストラクション時間をより有効に使うことが可能



トレーニングの7日前

コンテンツ+クイズ

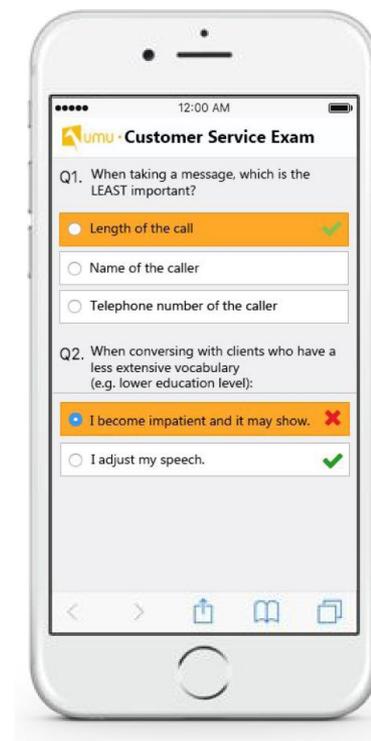
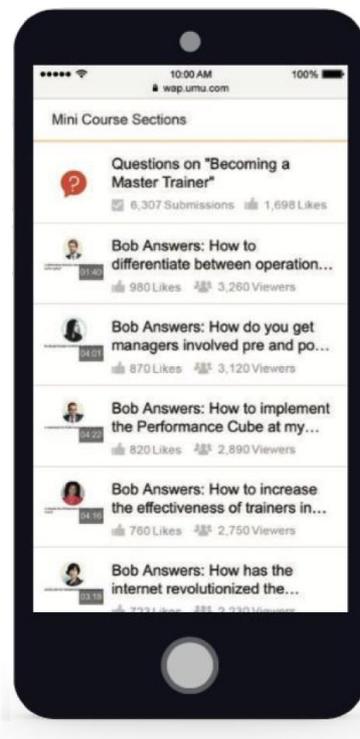
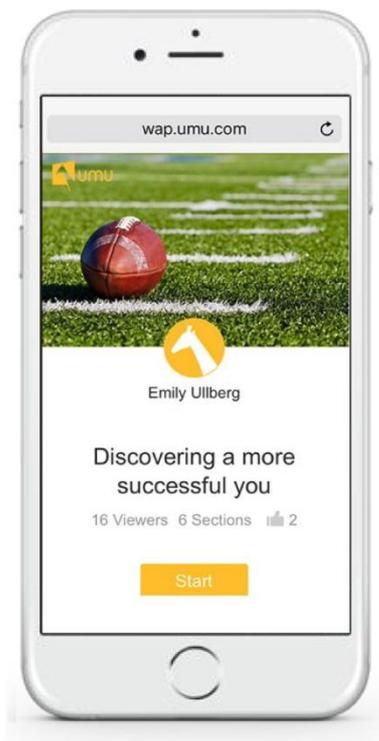


トレーニング

時間や場所を問わずにコンテンツにアクセス



UMUのマイクロラーニング コンテンツには、どこからでも、どのデバイスからでもアクセス可能。アプリは不要。まず既存のeラーニングで試行

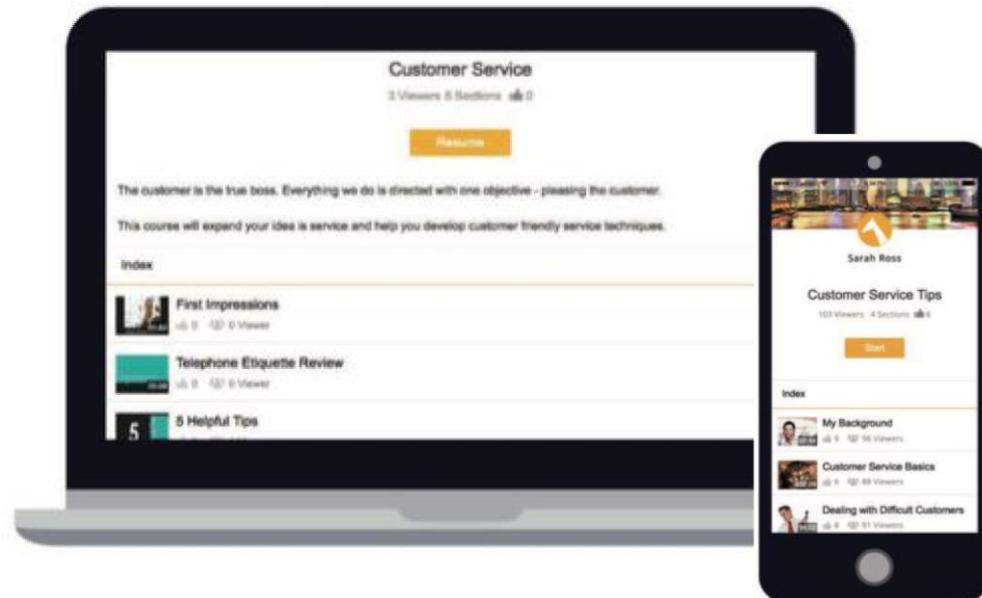


学習のパーソナライズ

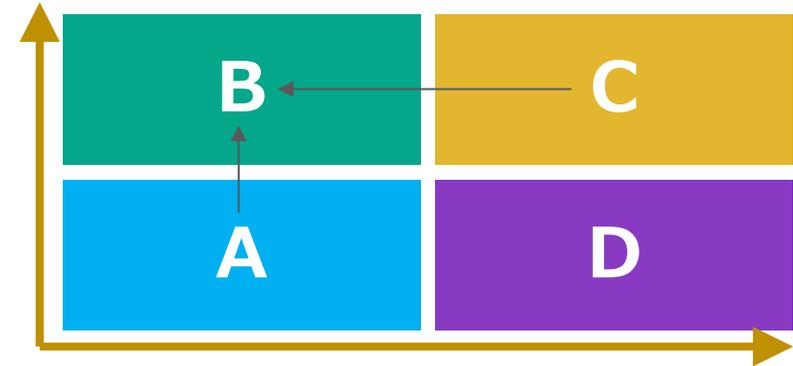
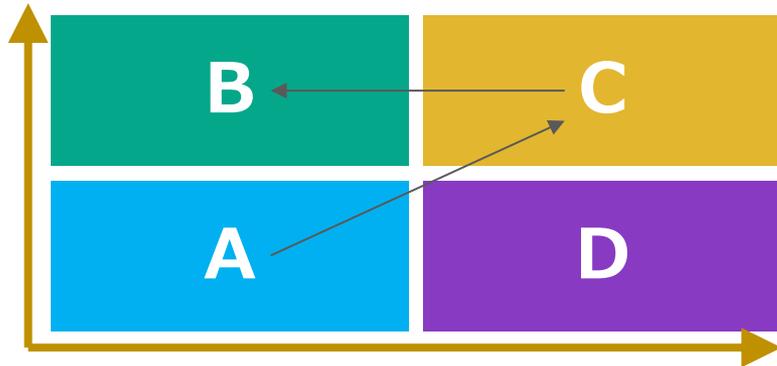
D

反転型クラス

学習者が、教室でそれぞれにオンライン講義やその他の自習型コンテンツを使って学習し、ファシリテーターが、適宜指導したり、質問に答えたり、コーチングを行う



スマートなブレンド型学習（未来のトレーニング）



ILT + OJT + バーチャル

- 対面型のセッションで、学習を強化
- OJTでは、ラーニングライブラリやオンライントレーニングを使用
- 最後にバーチャルセッションを行い、チームの進歩や結果を共有すると同時に、トレーニング目標を再度確認

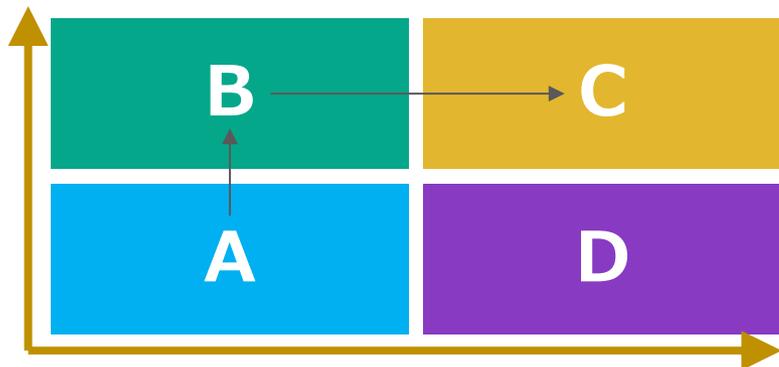
セルフペース + Q&A + ワークショップ

- 学習者が自分で学習内容を選ぶと同時に、テストを使って知識を確認
- バーチャルセッションで質問に答え、全般的理解を高める
- ワークショップ、ケーススタディ、ロールプレイ、ハイレベルのアクティビティなど、実際に顔を合わせるタイミングを有効に使用

* ILT - インストラクター指導型トレーニング

* OJT - オンザジョブトレーニング

リソースの可用性を高める



(対面型+ライブ ブロードキャスト) + 録画

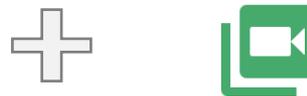
- トレーニングやスピーチをライブ配信し、より多くの人を会話に巻き込む
- UMUは、ライブストリームを資産として自動的に保存するので、参加できなかった人も後から参照できる。リソースライブラリに加えることも可能

イベント中

インタラクティブ セッション

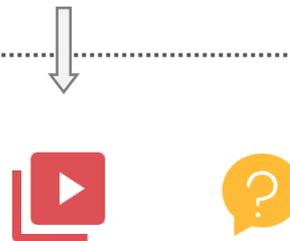


ライブ ストリーム

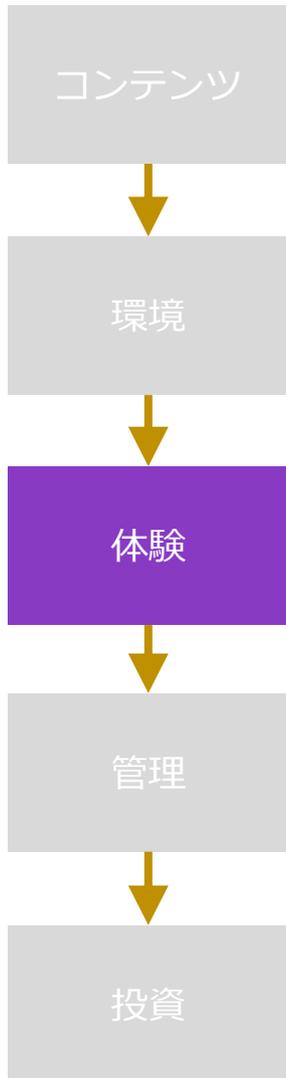


イベント後

セッションの録画



2017年に公開



UMUを使えば、コンテンツを簡単に作成し、
学ぶことが可能。コンテンツの再利用も可能
UMUを使えば、学ぶ意欲が高まり、効率的に学習し、
学習によるパフォーマンス向上が可能

UMUの5つのステップのモバイルラーニング



コンテンツ

- どのようなデバイスでも、簡単かつ迅速に作成・編集
- さまざまな資産（音声付きスライド、ビデオ）、双方向性（クイズ、ディスカッションなど）

環境

- バイトサイズのコンテンツで気軽に学習
- 時間や場所を問わずに効率的にアクセス

体験

- アウトプットを頻繁に行うと、学習の転移が促進される
- 「いいね」や任意のコメント機能による健全なピアプレッシャー
- 自動的にリマインドする機能

管理

- 学習者の進捗を各段階で追跡し、学習をビジネス上の成果につなげる
- 学習者のフィードバックに基づいて、特定のモジュールの効果を判断することが可能

投資

- 学習者がリーダーボードを参照して自分のパフォーマンスを評価することが可能
- 大量のフィードバックに基づいて、最も役立つコンテンツを判断することが可能
- 質の高いさまざまなコースや、専門知識を高めるためのリソースにアクセス可能

従来型のコンテンツは作成に時間がかかり、多くの場合、LMS外からはアクセスできない学習内容の定着や長期的利点を測定する方法がない

学習の定着:学習を活きた知識に

umu useful awesome helps choose

Trending Newest Explore

 Brian Kung
Micro-learning designed for the mobile internet age. UMU encourages knowledge sharing and the units are perfectly bite sized. Very useful!
Reply 1 0

 Kora Ho
The reason why I choose UMU is not only about the useful product that helps us a lot, but also the professional customer service that makes it trustful. I'm more than happy to have it in my work life and I strongly recommend it!
Reply 1 0

 Glen Hsu
UMU Microlearning is excellent
Reply 0 0

 Cici S. Chen
UMU Microlearning is awesome

従来のオンラインラーニングには、参加・関与意識や記憶の定着を促進するようなソーシャル的要素が欠けていた。

UMUは、学習のインプットとアウトプットを確実に
行い、学習を知識として定着させる機能を備える。
学習者は、自身の知識を証明することを求められる。
ソーシャルラーニングを活用して参加・関与意識を
向上。

ベンチマーキング、健全なピアプレッシャー

Index

Notes

Leaderboard

15 people ranked, [view rules >](#)



Alexander Yi



1



6/9



kim



3



5/9



Glen



0



5/9

4



vicky



0



4/9

5



Nina



0



4/9

6



Summer



0



4/9

従来のオンライン学習では修了率が追跡されるが、学習の質を測定することはできない。

UMUのランキング方法では、参加やフィードバック（回数、質）に基づき、学習をより包括的に測定。

このランキングが健全なピアプレッシャーとなり、学ぶ文化を促進。

学習パスのパーソナライズ



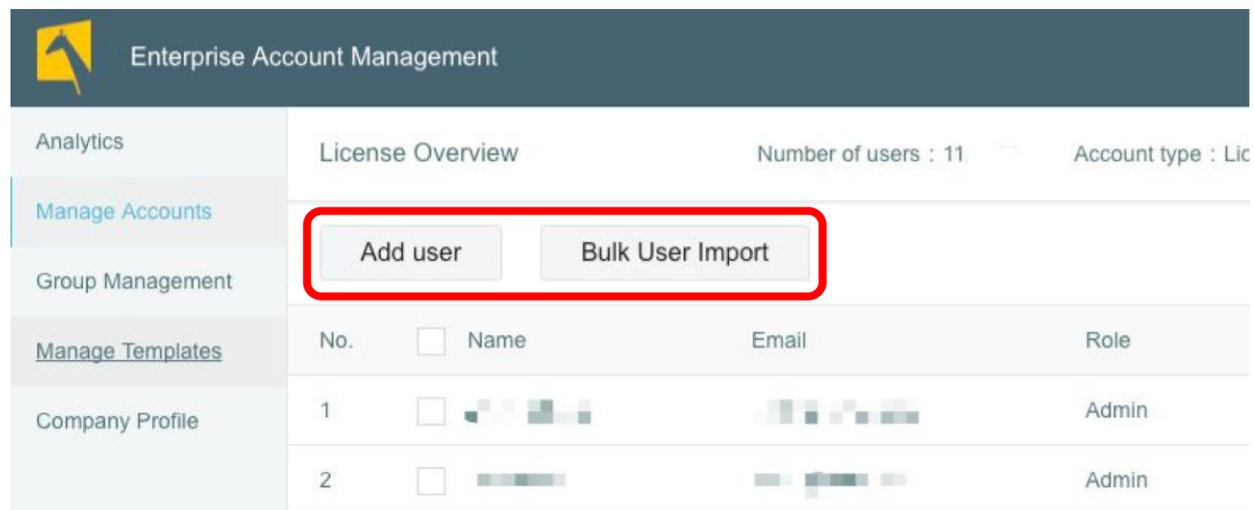
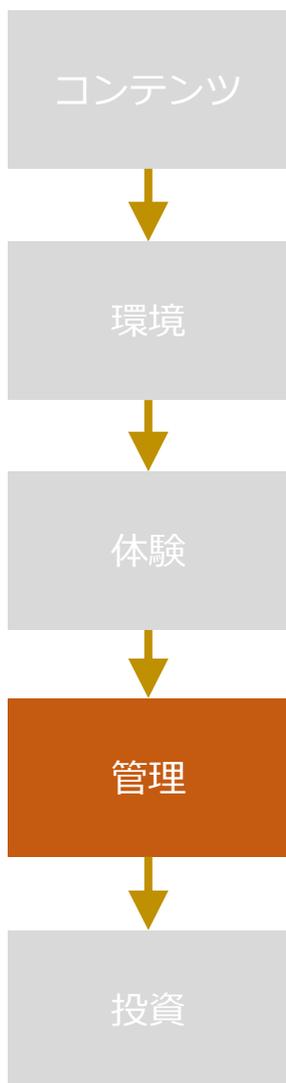
コースがバイトサイズに分けられているので、学習者は自分で学習順序を決め、必要に応じて特定のセクションを繰り返し学ぶことができる。

Sal Khan氏（カーンアカデミー）の言葉*：

「人によって変動するのは、何をどのくらい学べばいいかであり、本当にマスターしたことは変動しない」

* カーンアカデミーの創設者。カーンアカデミーには、世界190か国から4200万人以上が登録しており、基本的な数学から経済学、美術史、コンピューターサイエンス、健康、医学などの教材を提供している。

体系的で追跡可能な学習プロセスを構成



Enterprise Account Management

Analytics License Overview Number of users : 11 Account type : Lic

Manage Accounts

Group Management

Manage Templates

Company Profile

Add user Bulk User Import

No.	<input type="checkbox"/>	Name	Email	Role
1	<input type="checkbox"/>	[blurred]	[blurred]	Admin
2	<input type="checkbox"/>	[blurred]	[blurred]	Admin

2. Assign role (required):



ADMIN



MANAGER



INSTRUCTOR



LEARNER

Learners can receive lesson and course assignments. They cannot make content or access data.

管理者

すべてのデータに無制限にアクセスでき、学習者のグループを管理したり、マネージャーに割り当てたりすることができる

マネージャー

マネージャーが、特定のグループの成績や学習データを参照できるようにする一方、他の機密データにはアクセスできないように設定することができる

インストラクター

インストラクターが、ライブラリに追加する学習コンテンツを提供。レッスンは作成できるが、他の学習者のデータにはアクセスできないようにするなどの制限を設定できる

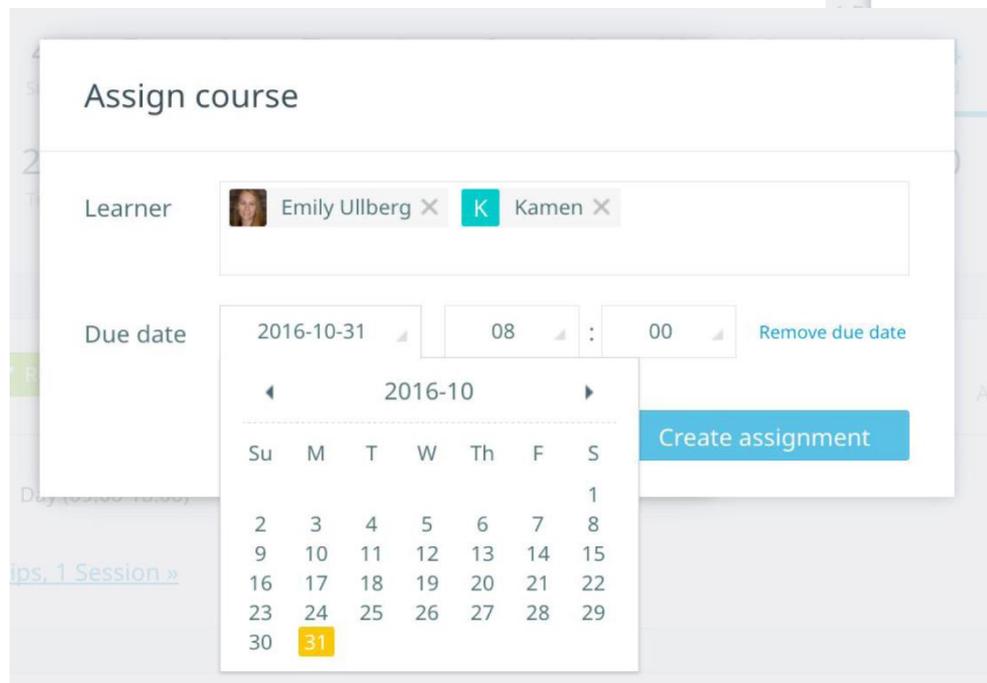
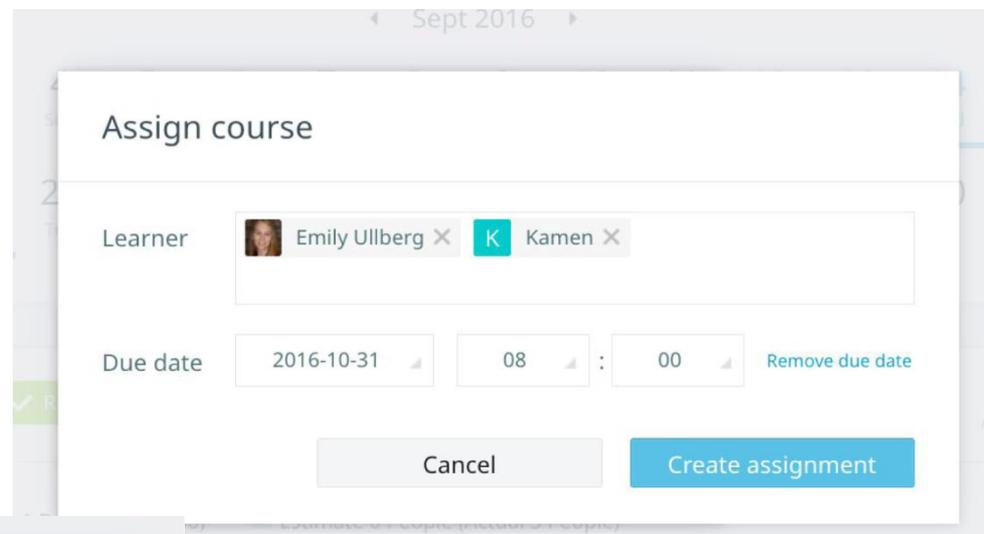
学習者

レッスンやコースを受講できるが、コンテンツを作成したり、アクセスすることはできない

チームのコラボレーションを促進し、 チームの能力を高める

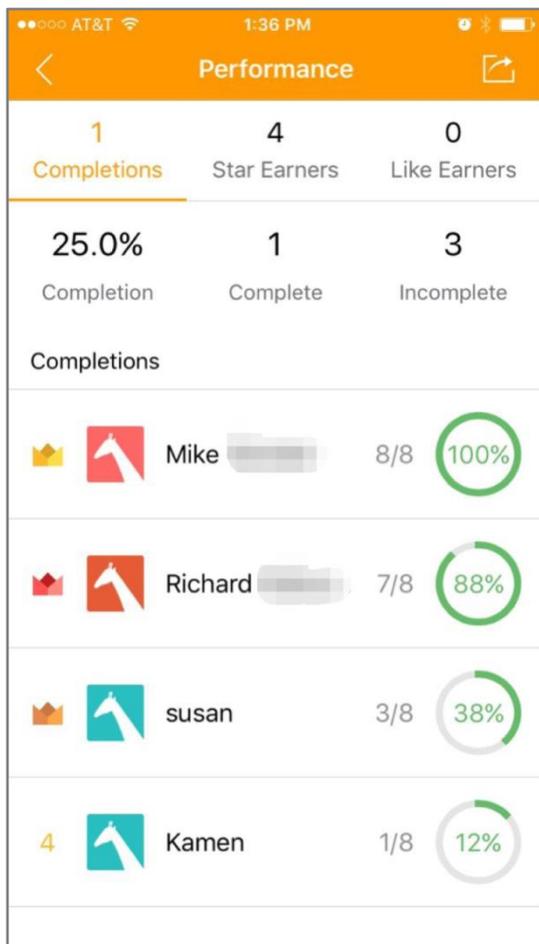


チームメンバーを招待して、コースを作ったり、コースを開催してもらう間もなく公開

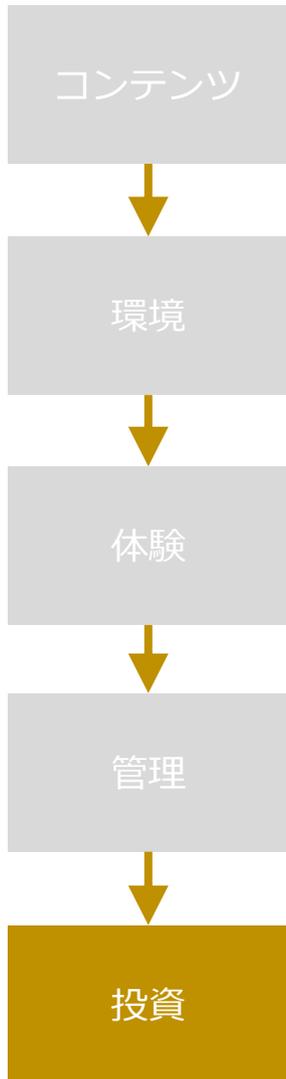


期限を設定し、個人や学習者グループに直接コンテンツを割り当て。UMUは、学習を自動的にリマインドする機能を備える

学習者のパフォーマンスや受講状況を追跡



UMUによるコスト削減、価値の創出



SAASモデルでは、カスタムアプリケーションや自社開発ソリューションを用意する場合と比べ、コストが10パーセントに抑えられる。ソフトウェアアップデートが必要ないので、エンタープライズラーニングプラットフォームの構築・運用コストが大幅に低下。

UMUは、すべてのシナリオに対応できる唯一のソリューション。UMUを使えば、それぞれの状況に最適な方法を効率的に使うことが可能。



